

令和6年度（2024年度）第3回熊本市観光振興推進協議会

■開催年月日：令和7年（2025年）3月4日（火）

■開催時間：10時～11時30分

■開催場所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流施設

■委員

（敬称略・五十音順）

| 所属 | 氏名 | 備考 |
|--------------------------------------|---------------------|-----|
| 九州産業交通ホールディングス株式会社 代表取締役社長 | 岩間 雄二 | 副会長 |
| 株式会社ON-do | 岡村 政志 | |
| 熊本経済同友会 幹事 | 尾道 早織 | |
| Webサイト「けんさむの熊本紹介」 運営 | けんさむ | |
| 東海大学 文理融合学部 地域社会学科 客員教授 | 小林 寛子 | 会長 |
| 熊本県旅連女将の会 熊本支部 肥後椿会 会長 | 西上 真理子 | |
| 熊本国際空港株式会社 営業推進部 | 羽田 勇 | |
| 九州旅客鉄道株式会社 執行役員 熊本支社長 | 三浦 基路 | ご欠席 |
| 株式会社アドアストラ 代表取締役 | モーガン ジェイソン デイビット | |
| 一般社団法人 観光ボランティアガイド くまもとよかところ案内人の会 | 本山 素子 | |

■事務局：熊本市

【会議資料】

- 次第
- 座席表
- 資料 戦略に基づく令和7年度の取組（案）について
- 参考資料 熊本市の観光動向について

【議事】

1. 開会

- 令和6年度第3回熊本市観光振興推進協議会を開催いたします。
本日は、戦略に基づく令和7年度の取組案につきまして、当初予算の要求状況をご報告いたしました後、令和7年度以降の取組について皆さまのご意見をいただければと思います。(事務局)

2. 議事

- 事務局説明
 - 資料 戦略に基づく令和7年度の取組(案)について説明
- 意見交換

基本方針1 世界に選ばれる観光都市・熊本の創造

【雲上の熊本城】

- 古井戸の水を使ってミストを出すというコンセプトを含め大変好評で、多くのお客様に来ていただけた。例えば長崎ランタンフェスティバルのように、良かったイベントについては、毎年継続していくことで認知度や集客が上がり、人気イベントとして定着していくと思う。(委員)
- 多くの方に知っていただけるよう、早めの情報発信が必要。(会長)
- 大変良いイベントだったが、来熊した方がその場で知ることが多く、もったいなと思った。SNS 発信だけでは動かない旅行者も多いと思うので、旅行会社や航空会社のパンフレットに入れるのが理想的だが、7か月ほど前には紙面の確保などに動き出す必要がある。なるべく早めに動きだしてツアーに組み込んでもらい、「見に行く」イベントに変えていくと、まだまだ大きいイベントになっていくかと思う。(副会長)
- 早めの情報発信を行うために、補助金の交付有無に関わらず事業実施を決定できるよう、市の単費での予算化等も検討すると良いのではないか。(委員)

【熊本城の復旧工事に関する情報発信】

- 職人さんなどから面白いエピソードが出てくると思うので楽しみにしている。情報発信から交流(職人さんや建設会社の方による市民向けのセミナー、どのような工事を行ったかなど成果を発表するような催し、石積み・石割り体験など)につなげられると良い。(委員)
- 石工さんや研究者の方と石積みをして、自分の名前を刻印できる企画などがあると良いと思う。(会長)

- 人吉城の企画（自分の名前を書いた石を積む体験）を参考にすると良いと思う。復旧作業に関わる体験は、熊本城への愛着にもつながると思う。（委員）

【水資源のブランド化】

- 市街地から近い所にある温泉地である植木温泉やサウナなど、親和性のあるコンテンツを、点ではなく面にしていく必要があると思うので、そういった取組について全面的にサポートしていきたい。（委員）
- サウナについては、ターゲットは誰で、どうして欲しいのかを明確にした上で、戦略的に取組内容を定める必要がある。既存施設の周遊促進や、水を打ち出すイベント実施など様々な形が考えられるかと思うが、例えば首都圏や関西などの遠方から誘客したいのであれば、熊本だけではなく九州内のコンテンツをパッケージで打ち出すなどの工夫も必要ではないか。（委員）
- 給水スポットについて、井戸水を手押しポンプでくみ上げるものなども取り入れると、水や歴史に触れる体験を兼ねることができて良いのでは。熊本城、熊本駅、空港、江津湖など、多くの方が訪れる場所に設置し、その水でお茶を飲むなど、何かできればストーリーを持たせることができて良いと思う。タンブラーも、毎年種類を増やしたり、エリアごとに作ったりしても面白い。（委員）

【ニューツーリズムの推進（ナイトタイムエコノミーなど）】

- 一つの場所だけで実施して人を集めるのではなく、熊本駅、桜町、空港などにエリアを広げることで、賑わいの相乗効果や交通面の課題解消（駐車場や渋滞など）につながるのではないか。（委員）
- 先日、熊本在住の海外留学生によるワークショップを実施したが、そば打ち体験などに大変喜ばれており、インバウンドの方が体験に対して非常に興味を持たれていると感じた。体験コンテンツをいかしたニューツーリズムについては、より拡充しても良いと思う。（委員）
- イベントなどの実施にあたっては、目的（ゴール）に応じた効果測定を行い、次年度予算配分の検討などにいかす必要がある。来場者が多く賑わえば良いという事ではなく、賑わいによってもたらされる効果である消費額に着目していく必要があるのではないか。（委員）
- 人流データの分析などを行い、熊本城から中心商店街への人の流れに沿って絶え間なくイルミネーションや賑わいを創出（竹あかりを照らす、長堀通りに屋台を出すなど）するとより良いのでは。（会長）

【自然を生かした体験型観光】

- 動植物園は、九州全域から人を呼べるような施設になり得るので、サバンナエリ

アの整備などできれいになるのは良い事だと思う。いきもの学習センターも改修予定とあるが、現在は暗い中に標本が多く展示されており、少し怖い印象を受けるので、是非変えていただくと良いと思う。ゲームコーナーも、故障した機械が半分ほどそのまま置いてある。どちらも園の中央に位置するエリアでありもったいないと感じる。(委員)

- 動植物園の入園者は、年間約 60 万人で、うち 2~3 割の方が県外の方となっている。現在、100 周年に向けたリニューアルが進んでおり、エサやり体験やバックヤードツアーなども実施しているが、情報発信の不足が課題。また、チョッパー像を見に多くの海外の方が来られるものの、入園せず帰られている状況がある。観光部門として、情報発信や、チョッパー像を見に来た方が園内に入るような仕掛け作りなどに連携して取り組んでいきたいと考えている。また、夏の暑さで入園者が減っているため、ナイトズーなど、熊本の気候に合わせた運営を、ナイトタイムエコノミーの一環として考えていきたい。(事務局)
- ナイトズーについては、名古屋市東山動植物園が良い参考になると思う。地元の家族連れの方をはじめ多くの方で賑わっていた。(副会長)
- ナイトズーやナイトミュージアムを充実させ、ナイトタイムエコノミーの取組と併せて旅行者にも情報発信していけると良い。ビアガーデンなど、食と組み合わせても良いと思う。(委員)

【中心市街地の魅力】

- 旅行者が初めて訪れる場所で見たいと思うものは、大きいものや美しいもの、ランキングに入っているものなどではないかと思う。中心商店街のアーケードは西日本最大級ともいわれており、磨き上げ（入口の装飾やアーケード内のアート化など）を図った上で、ランキングに基づいた売り出しなどをして良いのでは。(委員)
- 熊本城から中心商店街へ回遊させると言われているが、分断されている印象がある。アーケードが一体となって、楽しくきれいで面白く、情報がたくさんあるような場所になると良い。(会長)

基本方針 2 訪れる人にやさしい滞在環境の構築

【旅ナカ情報の発信】

- 紙媒体のパンフレットの設置場所について、ウェブ上で案内するなど、分かりやすくする必要はある。(副会長)
- 紙媒体の多言語対応については、日本語版と別冊になっているものと併記になっているものがある。用途などに応じて整理すると良いのではないかと。(委員)

- 旅行者に分かりやすくなるような表記が必要。(副会長)

(例1) 江津湖

⇒該当するエリアが広いため、その中でもどのゾーンを示しているかを分かりやすくすると良い。

(例2) 水前寺公園、水前寺成趣園、出水神社／霊巖洞、五百羅漢、雲巖禅寺

⇒表記の統一をすると良い(電停の名称変更が難しい場合は併記を)。

※官の協力がないと中々整わない部分かと思う。地元住民の方にも様々な意見があるという事であれば、地域で一度パネルディスカッションなどを開催しても良いのでは。また、観光ウェブサイト「出水神社」も掲載していただければと思う。(委員)

【質の高いガイドの提供】

- 韓国語によるガイドを担当しているが、最近日本語が話せない方も含め多くの方が熊本城に来られ、着物体験などをされている。研鑽を積んで、良いものをお客様に伝えられるようにしていきたいと思う。(委員)

【食の多様性への対応】

- 東南アジアからのお客様が増えていくことを考えると、ハラールへの対応をよりシビアに行っていく必要があると思う。(委員)
- ベジタリアンやヴィーガンの方の中を含め、厳格さの幅(食材処理の機材まで気にされる方から、旅行先では召し上がる方まで)は様々。アレルギー対応のような形で成分表示するなど、各店舗が実施しやすい取組から始めると良いのでは。(会長)
- インドネシアなど東南アジアの方にとっては安心感につながると思う。(委員)
- 特に、インドネシアは次のマーケットとしても期待される。日本語を学んでいる方が多く親日的で、全体の人口も多い。(会長)
- ハラールの方向けのメニューを作られている飲食店や、甘酒を提供している酒蔵などもおられるので、そういった取り組みを広げていただけると良い。(委員)

基本方針3 強みをいかした戦略的な誘客促進

【リサーチデータの活用】

- データに慣れていなかったり、データを読み解く時間的余裕がなかったりする事業者さんにも分かりやすいものにする必要がある。誰に見てもらい、どう活用してほしいかを明確にした上で、伝え方を工夫しないと、結局使われないままに終わってしまう。(委員)

- 日常で精一杯の事業者さんの割合の方が多いとは思いますが、そういった方々こそ元気があって個性的で、熊本の色を決めていると思うので、活用方法を提案するなど、伴走するような仕組みがあると良いと思う。(委員)

【SNS等を活用したプロモーション】

- SNSの発信について、市はプレイヤーとなる（主体的に投稿を行う）よりも、サポーターとなる（ユーザーの投稿を促す仕組みづくり）ことに注力した方が良いと思う。プロカメラマンが撮影した写真をお手本のような形で発信してフォトスポットを造成するなど、ユーザーを巻き込み、かつ飽きさせない取組が重要。(委員)
- 瀬戸内DMOなどは、ファンクラブができていて、そこで地元プロカメラマンやグルメに強い方などがタイアップして様々な発信をしていると聞いている。熊本市で行っているファンづくりの取組に、より多くの方が参加できると良いのではないか。(会長)

【広域連携プロモーション】

- 連携する地域については、九州と一括りにするのではなく、戦略的に取捨選択し、予算の集約を図った方が良い。福岡と大分については活発に人が動いており、熊本への誘客につながられるのではないかと。最終的には長崎、佐賀、宮崎との連携も必要だが、まずは最も大きい市場に予算を投下した方が良いと思う。(副会長)
- 西のゴールデンルートには魅力的な地域が多く含まれているため、それらの地域と組み合わせると熊本の影は薄くなってしまわないかと思う。(会長)
- 他の県との連携も重要だが、県内におけるハブとしての熊本市の魅力向上も同時に求められていると思う。(委員)
- 熊本市は、阿蘇や天草を訪れる場合でも一度は通る所なので、そのタイムスケジュールの中でどのような楽しみ方ができるか、情報をきちんと出していけると良いと思う。(会長)

基本方針4 観光振興を通じた熊本市の活性化

【観光産業の担い手づくり】

- 合同就職説明会、インターンシップ、スタートアップ支援、産学マッチングの促進などが予定されており、コンペなどで業者選定して実施することになるかと思うが、少し視点を変えて、外部への発信だけでなく、市民へのアプローチも併せて実施してもらいたい。市民が学びや気づきを得られてより輝いていけるよう

な催しである事や、市が市民の方を向いており、より良くしようとしている事などを感じてもらえるよう、切り口を工夫してほしい。(委員)

- ビジネス専門学校や市立高校における学習について、現状の講師報酬では中々講師の手配も難しいと思う。観光部署としてどのような方に講師をしていただきたいか想定し、予算化等も検討すると良いのではないか。(委員)

【縣市、市の関係部署における横断的な連携】

- 縣市、市の関係部署で重複した内容の取組が、ばらばらに動いている印象(例：水を活用した教育プログラムに県が取り組んでいる、熊本ファンづくりとして県がラブくま、市が TOKYOBASE096 に取り組んでいる等)。連携して協働で実施する取組と役割分担する取組を整理し、予算の集約を図った方が良い。(委員)
- 県との連携により、事業予算のスケールメリットの創出も可能になるかと思う。(副会長)
- 熊本の強みは歴史・文化・食(水)であり、これらを単品ではなくセットにして売り出す必要がある。熊本城、水、農業、歴史まちづくり、文化などの関連部署で連携し、観光部署でストーリー化によるプロモーションを先導するなどの取組が必要。関連部署や県の方にも本協議会に出席していただけると良い。(会長)

3. 閉会

これをもちまして、令和6年度第3回協議会を閉会いたします。(事務局)